

## 設置前の確認

地震時の通電火災を抑制するために

**ピオマ感震ブレーカー**

の設置を進めましょう！

# 【お問い合わせ先】

この動画は、ピオマ感震ブレーカーの取り付けに関する動画です。  
ご不明な点等あれば、下記までお問い合わせください。

株式会社生方製作所 ピオマ係  
フリーダイヤル(0120-279-170)  
※土日祝を除く(9:00~17:00)

# 【注意】

各ご家庭の分電盤は、高い位置に取り付けられていることが多いです。  
設置を行う際には、周りと安全に十分に配慮をして設置を行ってください。



# 【設置前の確認手順】



設置前の確認は、上記手順(計5手順)に沿って進めてください。

# 【付属品の確認】



付属品の確認 → 本体部設置スペースの確認 → 遮断部設置スペースの確認 → 分電盤の形状確認 → その他注意事項



【分電盤注意書きシール】



【リチウム電池】



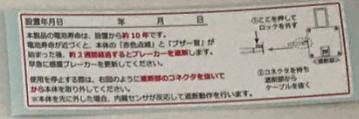
【ボルト・ねじ(各2本)】



【パネル押さえ(2個)】



【両面テープ】



【動作説明シール】



【ケーブル】



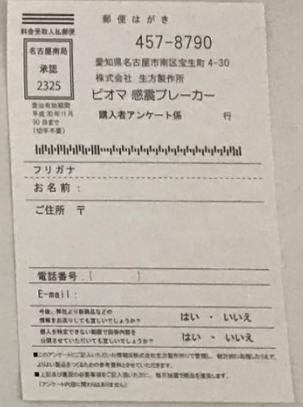
【設置台紙】



【アルコールシート】



【説明書(2部)】



【アンケートはがき】



【本体】



【ホルダー】



【遮断部】

初めに付属品(計14点)、すべてが揃っているかを確認してください。

## 【本体(ホルダー)部設置スペースの確認】



付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

分電盤の形状確認

その他注意事項



7cm

12cm

本体(ホルダー)部分設置スペースの確認をするために、分電盤周辺に縦12cm横7cm以上のスペースがあるかを定規等で確認を行います。  
※設置時のイメージのようにケーブルの届く範囲であれば、壁面もしくは分電盤側面に取り付けれます。

# 【遮断部設置スペースの確認】



付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

分電盤の形状確認

その他注意事項

**警告**



感電の恐れあり  
カバーを開けるな

**注意**

感電や電気器具故障の原因となる場合がありますので  
付属の取扱説明書を必ずお読みください。

9cm



電源例



**テンパール**  
JET注登録形  
配線用遮断形専用  
漏電遮断器  
GBU-3-1HEA  
3P2E 30AF 1φ3W  
JIS C 8222 Am2 25°C  
1W  
150/200VAC 2.5kA  
1s  
160JK

定格感電電圧 30mA  
IC 2.5kA  
コード保護電流 2.5kA  
定格漏電 15mA  
最大動作時間 0.1秒

表示 漏電した時、  
漏電圧が短  
わった時ポ  
タンが出来ます。再投入  
する時、ボタンを押し  
てください。

テスト テストボタ  
ンを押して  
動作を確認  
してください。

負荷側

9cm



漏電遮断器が切れた時の処置手順

分岐ブレーカをすべて「○」(切)にする

漏電遮断器を「↑」(入)にする

漏電遮断器 切れない → 切れる

- 分岐ブレーカを順に「↑」(入)にする
- 再び漏電遮断器が切れた回路が漏電しているため「○」(切)にする
- その他の分岐ブレーカは、「↑」(入)にして使用する



遮断部設置スペース有無の確認のために漏電ブレーカーの下部、もしくは上部に横9cmのスペースがあるかを確認します。

付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

分電盤の形状確認

その他注意事項

**警告**



感電の恐れあり  
カバーを開けるな

**注意**

故障の原因  
りますので  
書を必ず

7cm

**電源側**

30

漏電遮断器

定格動作電圧  
135V

定格漏電作動時間  
1秒以内

中樞を中性線  
にしてください

表示

漏電した時  
過電圧が加  
わった時ポ  
タンが出来ます。再投入  
する時、ボタンを押して  
ください。

テスト

テストボタ  
ンを押して  
動作を確認  
してください。

負荷側

7cm

分岐ブレーカをすべて「I」(入)にする

漏電遮断器を「I」(入)にする

漏電遮断器  
切れる

電気工事業者に点検をお願いしてください

・分岐ブレーカを順に「I」(入)にする  
・再び漏電遮断器が切れた回路が  
漏電しているため「O」(切)にする  
・その他の分岐ブレーカは、  
「I」(入)にして使用する



次に同じように下部もしくは上部のいずれかに縦7cmのスペースがあるかを確認します。

# 【分電盤(漏電ブレーカー)の形状確認】



付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

分電盤の形状確認

その他注意事項

**注意**  
破損の原因となりますので分電盤を構成する部品(ヒンジ部など)に油、薬品、洗剤(中性洗剤を含む)をつけないでください。  
感電や機器故障の原因となる場合がありますので付属の取扱説明書を必ずお読みください。

**TOSHIBA 30** 電源側  
漏電ブレーカ  
動作表示  
漏電・過電圧動作の色表示  
LB332JL 30A  
1.63W 3P2E 30AF 50/60Hz  
AC100V 200kV 2P2500VA  
定格感電電流 30mA  
高速度 瞬断不動作形  
動作時間 0.1秒以内  
定額動作漏電圧 1.35V  
テストボタン  
特殊動作を確認してください



遮断部の設置可否の確認をするために必ず分電盤の漏電ブレーカーの周辺を見てください。このとき、主幹ブレーカーと漏電ブレーカーを間違わないよう注意してください。**※地域によっては「主幹」のない分電盤もあります。**

付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

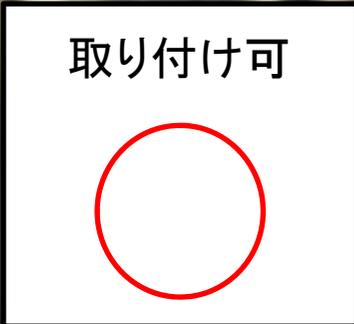
分電盤の形状確認

その他注意事項

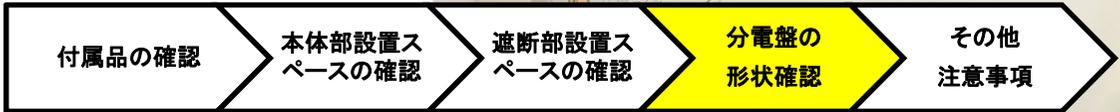


設置イメージ

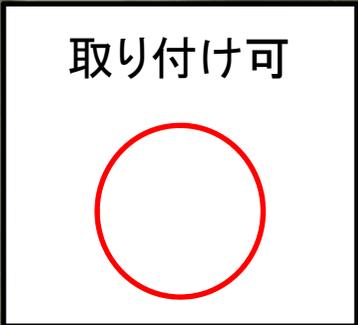
分電盤の形状:タイプA



漏電ブレーカーが分電盤より奥まわってレバーが出ているタイプ



設置イメージ



分電盤の形状:タイプB

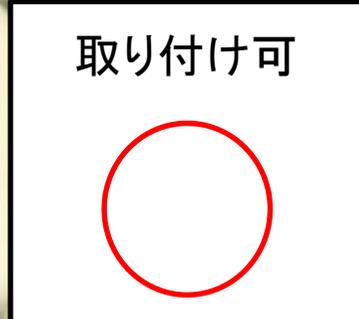
漏電ブレーカーは、分電盤と同じ面でレバーが出ているタイプ

- 付属品の確認
- 本体部設置スペースの確認
- 遮断部設置スペースの確認
- 分電盤の形状確認**
- その他注意事項



スペースがない！

分電盤の形状:タイプC



漏電ブレーカーは分電盤と同じ面で、下部に遮断部を取り付ける  
 スペースがないタイプ※遮断部レバー方向の変更にて可

付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

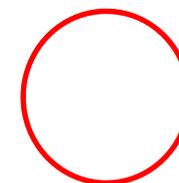
分電盤の形状確認

その他注意事項



設置イメージ

取り付け可



分電盤の形状:タイプD

漏電ブレーカーは、分電盤と同じ面でレバーが出ていないタイプ  
(フラットタイプ)

付属品の確認

本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

分電盤の  
形状確認

その他  
注意事項



取り付け不可



その他:木箱に入っているタイプ①

このような木箱に入っており漏電ブレーカーに遮断部の貼り付け面が確保できない場合には取り付けをすることが出来ません。

付属品の確認

本体部設置スペースの確認

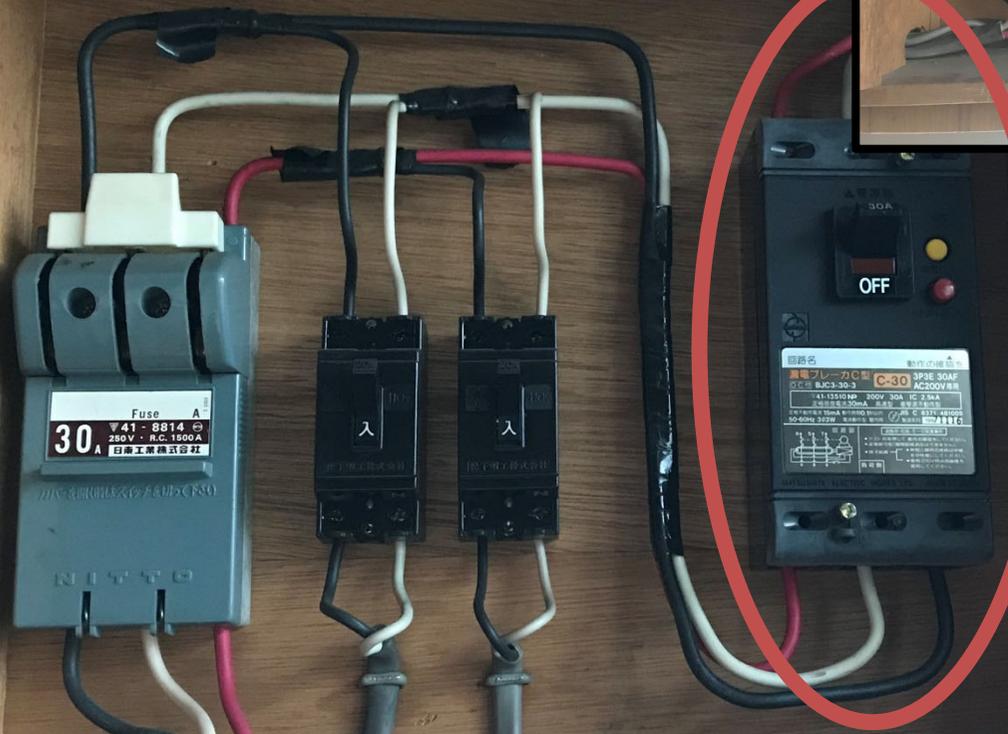
遮断部設置スペースの確認

分電盤の形状確認

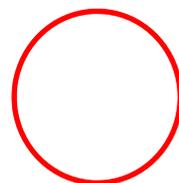
その他注意事項



設置イメージ



取り付け可



その他:木箱に入っているタイプ②

赤枠の漏電ブレーカーに遮断部の貼り付け面が半分以上確保できる場合には、取り付けることが出来ます。

## 【その他注意事項】



付属品の確認

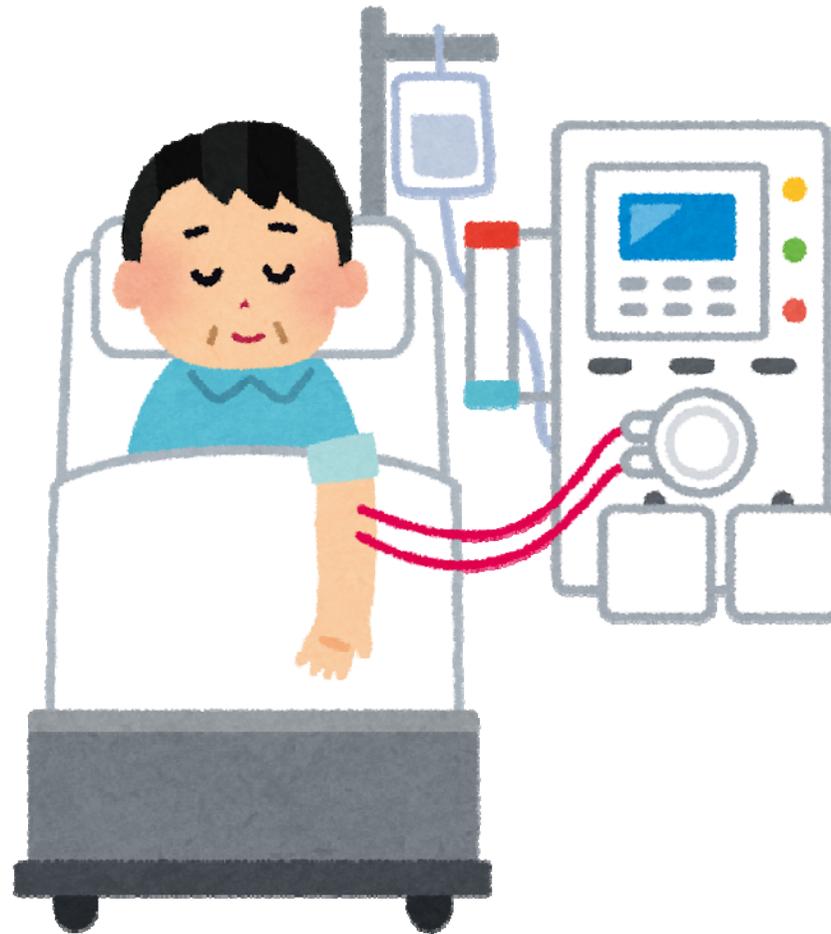
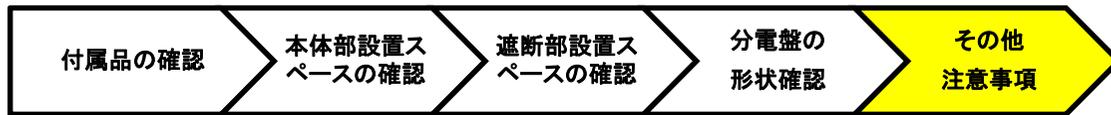
本体部設置スペースの確認

遮断部設置スペースの確認

分電盤の形状確認

その他  
注意事項

分電盤に蓋が付いているタイプ。感震ブレーカー自体の機能上問題はありませんが、常時開放状態になる可能性があります。



御自宅で家庭用電源を用いて動作する生命維持に関わる医療器具を使用している場合には、**確実に動作する補助電源がない限り設置をしないでください。**